

ユニセフカップ2008 芦屋国際ファンラン

2008年4月13日 ～芦屋中央公園～

実施レポート

桜の花びらが舞うシーサイドコースを駆け抜ける「ユニセフカップ2008芦屋国際ファンラン」が13日、芦屋市の芦屋中央公園を主会場に行われました。22回目の今年は、7種目に過去最多の8000人がエントリーし、健脚を競いました。（日本ハムグループからも29名の方がエントリーされました。）

本大会は「教育を世界すべての子どもたちに！」をテーマにユニセフ活動を支援。日本ハムグループは99年から少しでもお役に立てますよう、ご協力させていただいております。特別協賛社の代表として近畿圏量販部・木綿章夫次長が挨拶と寄付金の贈呈、そして男女5kmの名誉スターを務められました。

今回も日本ハムグループは「ニッポンハムチャリティフードショップ」を開設し、「チキンリンクスのホットドッグ」や「ミニステーキと串フランクのグリルセット」、「ベーコンピザ」、「肉しゅうまい」、「炭火烧ビビンバ」、又日本ルナの「マンゴーラッシー」、「バナナヨーグルト」や日本ピュアフードの「ピュアっ子ラーメン」などを特別販売し、ランナーの皆様はもちろんそのご家族、お仲間の方々にも楽しんでいただきました。また、ハムリンズも大活躍！恒例のハムリンズ体操に加え、芦屋では初登場の『ハムリンズ食育クイズ館』を設置。「食べることを楽しく学ぼう」をテーマに、来館者に食育クイズラリーや食育アニメをお楽しみいただきました。

日本ハムグループは地域のお客様とのコミュニケーションを深め、当社の食とスポーツ支援を多くの方々にご理解していただくため、今後も様々な機会を通じて、地域スポーツ振興のお手伝いを行なってまいります。



特別協賛社挨拶（木綿次長）



ゲストランナーの五輪銀メダリスト、エリックワイナイナ選手



ユニセフへ寄付金贈呈（木綿次長）



おなじみハムリンズ体操♪



いざスタート！



桜並木の川沿いを颯爽と駆け抜けるランナーたち



芦屋恒例の仮装大賞



終始行列のたえなかった『ハムリンズ食育クイズ館』とフードショップ